

2026(令和8)年度事業計画

理念

共生社会に生きる私たちは、自分自身を大切にし、社会の一員としての役割を果たしながら、同じように周囲の人々を大切にして共に生きる努力をします。

基本方針

1.就労支援

- 1) 一般の事業所に就労移行される方々には、必要な訓練と就労活動を共に行います。
- 2) 継続して福祉的就労を希望される方々には、作業量を確保し、自立するための高工賃を目指します。
- 3) 安定した基盤を土台とし、事業の内容を常に検証します。

2.質の向上

共に与えられた人生の質を高めるために、職員は福祉従事者としての専門性を知識と技術において絶えず向上することに努力します。

施設運営方針

1.経済的自立の達成

生活基盤である衣食住の自立を達成するために積極的に就労作業に取り組むことができるように支援します。

2.社会的自立の確立

社会の一員であることを自覚し、進んで役割を負い、全てのことに責任をもって生きることができるよう支援します。

3.共生社会の実現

お互いに言葉と感性を通して理解を深め、相手の人格を大切にし、助け合いの生活を通して共存共栄の生き方を求め続けます。

事業計画

《法人》

1.多様化(高齢化、障害重度化等)する利用者の支援対応

利用者本人や家族の高齢化、また様々な障害種別により、毎日の利用や1日6時間の利用が難しい人が増加した。本人の体調や意向を尊重しながら、出来る限り個別の支援が行えるように取り組む。諸事情により一時的に通所利用が困難になった利用者にも、個別の支援提供を検討する。

2.就労選択支援事業所との連携

令和7年10月より、新たに就労選択支援事業サービスが開始された。総合支援学校等の在校生や、新規で障害福祉サービス(就労継続A・B)を利用される人に、本人の希望や適性に合ったより良い働き方が出来るように、情報や選択を提供するに支援サービスで、今後、対象者には利用が義務付けられる。防府市内では令和8年4月に、1法人がこの事業を開始する予定である。選択支援事業所から依頼があれば、利用者本人の意向に沿った体験や支援が提供出来るように協力を行う。

3.働きやすい職場環境の整備

近年、労働基準法をはじめとする労務に関する法令の頻繁な改正や、最低賃金の急上昇により、毎年のようにその対応に迫られる。法令を遵守するとともに、職員により働きやすい環境を構築するために専門家の助言や支援を頂き、職場環境を整備する。

《施設》

1.送迎車両の入れ替え

利用者の送迎や、就労委託先へ移動する際に利用する送迎車が老朽化した為に、助成金等を活用した送迎車の入れ替えを検討する。

2.照明器具(蛍光灯からLED)の転換

令和7年度までに、事業所内の約2/3の蛍光灯をLEDに切替えた。引き続き、新館及び併設する倉庫のLED化工事を行い、令和8年度内に、全ての蛍光灯をLEDに切替える工事を終了する。

3.職員の支援技術の向上(委員会活動)

施設利用者への支援技術、サービス向上の為、外部研修会に積極的に参加するとともに、伝達研修を行い、職員間で支援技術・情報を共有する。また、施設内において、利用者の権利擁護のための身体拘束防止や虐待防止、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための委員会活動、研修の取り組みを行う。

《就労支援(授産)》

1.就労支援売上向上への取り組み(施設外就労の検討)

令和7年度の就労支援売上高は、自動車産業の不振もあり、前年度と比較して20%の減額が見込まれる。施設内で行う受託作業の受注が伸び悩む中、落ち込んだ就労売上げを回復するために施設外における請負作業の可能性を探る。

2.農福連携への取り組み

令和7年度、JA等連携して農福連携活動を開始したが、取り組み内容の整備が不十分なままのスタートであった為、令和8年度は、要望に対応できるよう体制を整えて、前年度以上に活動に協力できるように取り組む。

3.カッティングマシンの導入検討

現在、稼働している型抜きプレス機は、原材料を加工する際に型抜きの為の木型作成が必要な為、小ロット加工の場合、加工賃が割高になる傾向がある。受注作業の間口を広げる為、CAD(図面)から、型抜き加工が可能となる機械の導入を検討する。

4.一般企業への就業、定着支援職に向けての活動

令和7年度の就職活動において、令和8年4月より、1名の利用者の一般企業への採用が決定した。雇用が継続するよう支援を行う。

2026(令和8)年度施設概要

1.職員配置状況(令和8年度)

正規職員 男 5名 女 1名 計6名
非正規職員 男 1名 女 4名 計5名 合計11名

職種 施設(定員)	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	生活支援員	就労支援員
就労継続支援 B(34)	1	1	1	
就労移行支援(6)			1	1
就労定着支援(20)				

職業指導員	目標工賃達成 指導員	就労定着支援員	事務員	合計
5,0	0		(兼務1)	正規6 非正規5
0.5	0			
		0.5		

最低基準

就労継続支援B型

サービス管理責任者 1名(兼任)

職業指導員／生活支援員 6：1(生産活動強化型)

就労移行支援

サービス管理責任者 1名(兼任)

就労支援員 1名 職業指導員／生活支援員 6：1

就労定着支援

サービス管理責任者 1名(兼任)

就労定着支援員 1名(兼任) 40：1

2.施設利用者数(4月見込み)

就労継続支援 B型(定員34名) 41名

就労移行支援(定員6名) 2名

就労定着支援(定員20名) 6名

3.目標工賃 平均月額 30,000円

作業種目 紙器・製函(受注約25社)、委託請負作業(4社)、農福連携(2法人)

令和6年度工賃実績 心促福祉作業センター(就労継続支援B型) 27,780円／月
(時給換算 237円／時間)

2026(令和8年)度行事予定表

法人関係

理事会	2回(5月・3月)	
監事監査	1回(5月)	
評議員会	2回(6月・3月)	
山口県障害福祉サービス協議会理事会	3回	所長
山口県社会就労センター理事会	3回	所長
山口県社会福祉法人経営者協議会総会	2回	理事長
山口県社会福祉法人経営者協議会法人等役員セミナー	2回	理事長
山口県社会福祉法人経営者協議会経営力向上セミナー	2回	理事長

施設関係

健康・衛生・防災関係

職員健康診断	1回(4月)
利用者健康診断(40歳以上)	1回(8月)
利用者健康診断(40歳未満)	1回(8月)
防火避難訓練・消火訓練	2回(4月・11月)
防災訓練(風水害、地震)	2回(5月、11月)
虐待防止・身体拘束防止委員会	2回
感染防止委員会	4回
防犯訓練	1回
血圧測定	随時
検温検査	毎日
ラジオ体操	毎日

就労センター関係

全国社会就労センター総会	1回	所長
中国・四国社会就労センター総会	1回	所長

研修会

施設内研修(ビジネスマナー)	全職員
施設内虐待防止研修	全職員
施設長研修会(全国社会就労センター)	所長
同(全国社会就労センター総合研究大会)	サービス管理責任者
同(中国・四国社会就労センター)	所長
職員研修会(全国社会就労センター)	職業指導員
同(中国・四国社会就労センター)	職業指導員
同(山口県障害福祉サービス協議会)	職業指導員・生活支援員
同(防府市社会福祉施設連絡協議会)	職業指導員
経理担当職員研修会(山口県社会福祉法人経営者協議会)	経理担当職員
福祉サービス苦情解決担当者研修会	担当職員
障害者虐待防止・権利擁護研修(山口県)	担当職員

協議会・運営委員会等

右田地区社会福祉協議会 総会(1回)	所長
山口県障害福祉サービス協議会 総会	所長
山口県障害福祉サービス協議会 就労部会	職業指導員
山口県社会就労事業振興センター総会	所長
防府市社会福祉施設連絡協議会(3回)	所長
防府市総合支援協議会 就労部会(4回)	サービス管理責任者、担当職員
防府市総合支援協議会 研修部会(随時)	担当職員
防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会	所長
鳴滝園障害者就業・生活支援センター	
業務運営連絡協議会・定例会(3回)	サービス管理責任者
山口県障害者雇用合同面接会(1回)	就労支援員

※研修・会議には、リモート型参加によるものも含まれます

スポーツ・レクリエーション

保護者会	4月
キラリンピック	5月
防府市ふうせんバレーボール大会	6月
ボーリング招待	6月
うなぎ弁当	7月
まりふ福祉祭り	9月
防府市社会福祉施設職員親睦バレーボール大会	9月
研修旅行(日帰り)	10月
防府市インクルーシブ・スポーツ・フェスタ	11月
クリスマス茶話会	12月
20才のお祝い会	1月
防府市障害者ふれあい芸術展	2月
防府市障害者親睦卓球大会	3月

地区交流・施設開放・地域貢献活動

地区清掃	5月
実習生受入れ(防府・山口・山口南・附属・他各総合支援学校 ・相談支援センター・若者サポートステーション等)	随時
こども110番の家	通年
学校・各種団体見学・研修会受入れ	随時
右田小学校放課後チャレンジ教室への協力	随時
右田・玉祖地区の地域活動への協力	随時

定例行事

定例職員会(行事)	12回(毎月1回)
利用者支援会議	24回(毎月2回)
利用者互助会(年2回)	